

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
姫路市	下伊勢	令和3年3月	令和3年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	34.8	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	32.4	ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	6.3	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	4.6	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	11.0	ha
(備考) ・地区内農地の約半数を中間管理機構に貸し付けているが、他にも借り手を探している農家が多数ある。 ・鳥獣害防止策として鉄柵で地区内を囲っているが、イノシシに壊される他、川・道路から侵入され作物を荒らされている。		

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・10年後は更に高齢化が進み、後継者未定の農家が8割を超える予想がつく中、新たな農地の受け手が必要。 ・農家が農業を離れた要因の一つに獣害があり、年々被害が増大している。 ・姫路北バイパス延長区間が開通し、圃場が分断されるため、小さくなった田が多く残る。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・中間管理機構を介して参入いただいている担い手に貸す農地を増やし休耕田を解消する。 ・認定農業者、認定新規就農者を受け入れ新たな担い手になってもらう。 ・水稻作付け面積を拡大している地区内農家に田を預け休耕田を解消する。
--

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
到達	有限会社ワールドファーム	野菜類	8 ha	野菜類	18 ha	下伊勢
法人	有限会社モンテローザファーム	野菜類	4 ha	野菜類	4 ha	下伊勢
認農法	児島園芸有限会社	野菜類	4 ha	野菜類	5 ha	下伊勢
認就	片岡 佑介	野菜・果樹類	1 ha	野菜・果樹類	1 ha	下伊勢
			ha		ha	
計	4 人		17 ha		28 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

・従来から貸し付け意向のある農地は約10筆、1haある。

農地中間管理機構の活用方針

・中間管理機構に貸し付けても良いと考えている農家は少なくないため、さらに貸し付けていきたい。

基盤整備への取組方針

・姫路北バイパス整備工事により分断され、面積が小さくなった残りの農地を寄せ大区画化等の基盤整備を行いたい。

鳥獣被害防止対策の取組方針

・農区として鹿柵を設置し、柵の保守を行っているがイノシシ等に破られる、壊されるなどの被害が出ているため、機材・部材を購入し保守を進めていく。
・猟師に対して農区独自の報奨金を出しているが、この制度を継続し捕獲体制を強化していく。

災害対策への取組方針

・水害防止のため、地区内にある7箇所のため池治水対策を継続して取り組む。